

ワールドトライアスロンカップ(2022/宮崎)
日本エイジグループ・トライアスロン・チャンピオンシップ(2022/宮崎)
新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン
2022年10月20日現在

ワールドトライアスロンカップ宮崎実行委員会
(構成団体:宮崎県、日本トライアスロン連合(JTU)、宮崎県トライアスロン連合(MTU)他)

1. 基本事項

日本国政府、大会開催地自治体(宮崎県、宮崎市)、競技団体(ワールドトライアスロン、日本トライアスロン連合(JTU)、宮崎県トライアスロン連合)の感染対策防止方針を踏まえ、以下を本大会の感染拡大防止ガイドラインとする。

国際トライアスロン連合(World Triathlon)

https://education.triathlon.org/pluginfile.php/16926/mod_page/content/83/20211030_Covid19_Guidelines%206.0%20v1.pdf

日本トライアスロン連合(JTU)

https://www.jtu.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2022/05/covid-19_event_guideline_20220529.pdf

2. 基本的感染予防対策の徹底

- ・競技以外の場面でのマスクの着用
- ・会場での手指消毒の実施
- ・『密』の回避(ソーシャルディスタンスの確保など)

3. 海外からの選手・関係者の受け入れについて

- ・日本国政府の水際対策に従い、海外関係者の受入を進める

4. 大会会場への来場について

来場する全ての関係者(参加選手、大会運営関係者など)において次の場合は来場を控えていただく

- ・来場予定日から7日以内(来場予定日を0日とする)に濃厚接触者になった場合
- ・来場予定日から3日以内(来場予定日を0日とする)に1日でも体温37.5℃以上がある場合
- ・来場予定日から3日以内(来場予定日を0日とする)に下記の症状がある場合
咳または痰がある、喉に痛みがある／息苦しさがある／強いだるさを感じる／嗅覚や味覚に異常を感じる

5. 来場前の健康行動チェックの実施

・来場する全ての関係者(参加選手、大会運営関係者など)へ来場前7日間の健康行動チェックを実施(下記詳細)

- ・エリート選手: 入国時の諸条件(ワクチン接種状況、検査陰性証明)をもって健康チェックの代用とする
- ・エイジ選手: 健康状態確認は、Webシステム(QRチェックイン)で行う
- ・大会関係者(スタッフ、来賓、TOなど): 健康状態確認は、健康チェックシートで行う

・来場予定日から3日以内(来場予定日を0日とする)に感染を疑う状況が判明した場合(※)は、原則として来場を控えていただく

※感染を疑う状況が発生したときは、都度地元関係機関と調整し対応方法を決定する。

6. 検査について

・基本的に、出場選手および関係者に対して検査(PCR・抗原など)の実施は求めない(来場前の健康行動チェックにて対応)

・ただし、エリート選手に関しては、入国や出国の際に日本国政府が定めた条件に従い、検査対象者へ検査を実施する

・尚、検査実施の際は自己負担を基本とする

7. 観戦者の来場

・観戦者や同行者の制限は行わない

・ただし、基本的感染予防対策(2.)を徹底した上での観戦を案内する

・応援活動に関しては、大声での応援は控えていただく(応援は拍手などで)

8. 競技説明会

- ・エリート:密接、密集を避けるためオンラインでの競技説明会を実施する
- ・エイジ:密接、密集を避けるため競技説明会動画のWEB公開を実施する

9. 選手受付・支給物配布

- ・エリート:屋外スペース(大会会場・アスリートラウンジ)での実施
- ・エイジ:屋外スペース(シェラトン・ウォークモール)での実施

10. セレモニー関連:開会式・閉会式・表彰式・パーティー

- ・セレモニーは、屋外スペースにて実施する(表彰式も簡素化した進行プログラムで実施)
- ・飲食の伴う大人数でのパーティーは行わない

11. スタートでの対応

- ・エリート・エイジともにスタート前の待機中は、マスク着用、対人距離1mの確保を行う
ただし無言で待機できるのであれば、マスク無しも許容する(会場アナウンスでも周知を行う)
よって、エイジ大会においては、試泳後のマスク着用は求めない

12. エイドステーションでの対応

- ・エリート:エイドステーションは、対応スタッフに感染対策を講じた上で選手へ手渡しを行う
- ・エイジ:エイドステーションは、スタッフと参加選手との接触を避けるため、セルフ方式とする
- ・コップの廃棄は用意したゴミ箱に選手自身が入れるよう案内する

13. トランジションエリアでの対応

- ・エイジにおいては、早くフィニッシュした選手が速やかに自転車を引き取って帰路につけるよう、トランジションエリアを早期解放できるように検討する

14. フィニッシュエリアでの対応

- ・フィニッシュエリアは、密にならないよう十分なスペースの確保を行う
- ・フィニッシュ後は、選手へマスクの着用を喚起し、速やかに移動できるよう案内する

15. 会場での結果速報について

- ・会場内での掲示は、密集発生の一因となるのでWEB配信や後日ホームページでの掲載を行う

16. 大会後7日間以内に陽性者となった場合

- ・参加者が大会後7日間以内に新型コロナウイルスに罹患した場合は大会側に連絡を行う

17. 大会後の立ち寄りについて

- ・大会後はできる限り速やかに帰宅いただくよう案内する

本件に関するお問合せ

JTUイベントチーム(担当:小池) event@jtu.or.jp